

本 NPO 法人の活動に関するご支援やご寄付等のお願い

私達は、従来の微生物資材とは一線を画し、「作用の科学的な根拠を説明でき、農業生産者の疑問に答えられ、実現が難しかった生産性を損なわずに環境負荷を減らせる水稻栽培を可能とする微生物資材」であるバイオ肥料キクイチを開発し、これにより、農業微生物利用技術全体に対しても新たな研究開発への期待を高めることとなりました。

これらの期待に応えるためには、継続的な研究開発資金の獲得、研究を担う人材の育成、開発技術のユーザーである農業生産者への普及啓発、さらには農業に対する消費者・一般市民の科学的認識の向上などを総合的に推進しなければならないと考えております。ところが、これまで農業微生物利用技術研究の推進母体であった大学も含めた公的研究機関では、行政ニーズの多様化や迅速な成果普及への強い要求により、将来的に有望な研究テーマであっても研究資金や人的資源の投入がままならない状況になっております。

そこで、我々研究グループは、これらの活動を行政上の制限のない条件で継続できる何らかのグループ設立を考えました。これらの活動は、科学技術の振興を基盤としつつ、農山漁村の振興を図り、ひいては環境の保全にも役立つことから、不特定多数のものの利益の増進に寄与する NPO 法人として活動するのが最も適当であるとの結論に至りました。

そこで、○微生物利用技術研究に取り組みたい研究者、○環境にやさしい農法を取り入れたい生産者、○食への科学的認識を高めたい消費者・一般市民、具体的には、大学や民間企業の第一線の研究者、新技術導入に積極的な先進的農家、食の科学に関心を持つ僧侶らが集まって本 NPO 法人を設立しました。

私達は、農業微生物利用技術の研究開発を行う大学、公的、民間研究機関への教育研究の支援、開発した技術のユーザーである農家さん・生産者さんへの普及啓発、さらには農業に対する消費者・一般市民の科学的認識の向上を通して食に対する関心を高める食育活動などを総合的に推進して、農業微生物利用技術の広範な普及を図ることを活動目的に致します。本 NPO は生まれたばかりです。微力ですので、是非、皆様のご支援やご寄付を頂き、上記の目的に向けて活動を進めていければと考えております。

どうぞ、横山（二本松本部）あるいは吉川（京都支部）へご連絡いただき、ご支援やご寄付のご相談を頂ければ、心より感謝申しあげます。ご支援等をお待ち致します。

理事長 横山 正